

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	4462
公告方法	電子公告により行う。 なお、電子公告は、当社のホームページに掲載しており、そのアドレスは次のとおりです。 http://www.unicon.co.jp/

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ご案内

少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。なお、期末または中間配当につき「株式数比例配分方式」をご利用いただくためには、それぞれ上記の期末配当または中間配当の「基準日」までにお手続きを完了しておく必要がありますのでお気を付けください。

また、ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問合せください。

石原ケミカル株式会社

株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4462

いいかぶ

検索

 空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で得謝(図書カード500円)を差し上げていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media)についての詳細<http://www.a2media.co.jp> ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問合せ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com



当社ホームページにおきましても、最新のトピックスをはじめとして、IR情報や会社情報、製品情報など様々な情報をご案内しております。

インターネットホームページアドレス

<http://www.unicon.co.jp/>



第80期 株主通信

平成29年4月1日～平成30年3月31日

石原ケミカル株式会社

石原ケミカルの技術や製品は、身近な電子機器・自動車用品など、 さまざまなシーンで活躍しています。

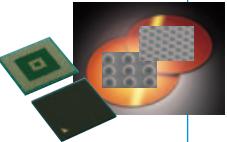
工業薬品分野

鉄鋼、化学、環境・公共事業分野等に薬剤の提案、付加価値の高い商品開発など、コーディネーター的役割を果たす提案開発型商社

電子関連分野

金属表面処理剤

スマートフォンやタブレット端末などに使用される電子部品の表面処理に用いられるめっき液を製造・販売



機器等

化成処理液自動管理装置及び試薬を製造・販売



電子材料

セラミックス製品

マシナブルセラミックス、エンジニアリングセラミックスの加工部品を販売



エンプラ製品

ポリイミド樹脂、PEEK樹脂素材の販売及び加工部品の販売

自動車用品分野

快適なカーライフをサポートする自動車ケミカル品の製造・販売



カーディーラー
エアコン洗浄剤

ガソリンスタンド
洗車機用洗浄剤

板金・補修工場
補修用ケミカル

整備工場
整備用ケミカル



代表取締役社長 時澤 元一

株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第80期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の業績ならびに事業の概況についてご報告させていただきます。

当連結会計年度における国内経済は、底堅い内外需を背景に、雇用情勢や所得環境、企業収益に改善がみられるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況下、当社グループといたしましては、研究開発をさらに進めるとともに海外市場の開拓に積極的に取り組み、高付加価値製品の市場展開に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高14,963百万円（前年比2.7%増）、営業利益1,160百万円（前年比55.2%増）、経常利益1,217百万円（前年比48.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は898百万円（前年比57.3%増）となりました。

Q 当連結会計年度の業績についてお聞かせください。

A 金属表面処理剤及び機器等、自動車用化学製品等、工業薬品のセグメントが好調に推移したことにより増収・増益となりました。

金属表面処理前における一般電子部品用めっき液および、液晶ドライバー用無電解めっき液が堅調であったことに加えて、新しい技術に対応したウエハー用銅めっき液が伸びたことにより高付加価値

製品の販売が好調に推移しました。

また、自動車用化学製品および電子材料の機能材料加工品も好調に推移し、増収増益となりました。

Q 次期の見通しと今後の取組についてお聞かせください。

A 新技術に対応した銅めっき等の開発、高付加価値薬剤の採用を促進してまいります。

<金属表面処理剤及び機器等>が対応する電子部品業界においては、車載、スマートフォン関連及び次世代情報通信システムに関わる電子部品メーカーの生産動向が堅調に推移するものと予想されます。また、4Kや有機ELの大型テレビの増産が見込まれ、加えて一部のスマートフォンへの2メタルCOFの採用が予想されます。

当社グループといたしましては、ウエハーバンプめっき液においては、高速化やその周辺プロセス薬品である銅ピラーおよびファンアウト技術に対応した銅めっき液を開発し、台湾、韓国を中心に高付加価値薬剤の採用を促進してまいります。

また、COFやTABに対応した無電解銅めっき液では、台湾、韓国メーカーへの迅速な技術対応により

他社の介入を阻止するとともに、中国新規メーカーの獲得に努めてまいります。

<自動車用化学製品等>においては、エアコン洗浄を同時に施工するビジネスのカーディーラーでの定着を引き続き推進してエアコン洗浄剤、コンパウンドの売上拡大をはかるとともに、コーティング剤などを次期事業の柱に育成してまいります。

これらの結果、連結業績予想につきましては、売上高15,590百万円（前年比4.2%増）、営業利益1,440百万円（前年比24.0%増）、経常利益1,500百万円（前年比23.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,060百万円（前年比18.0%増）を見込んでおります。

Q 当連結会計年度の配当金と株主還元方針についてお聞かせください。

A 安定的で継続的な配当を行うことを基本にしながら、業績に対応した増配を検討するなど弾力的な還元策をはかります。

業績に裏付けられた安定的で継続的な配当を行うことを基本としつつ、業績に応じた増配を検討するなど弾力的な株主還元策をはかっていく方針であります。配当に加えて自己株式取得も機動的に組み合わせることで、実質的な株主還元の一

層の強化をはかります。

当期の年間配当は従来の中間、期末それぞれ1株あたり16円を合わせた32円および、東証一部指定の記念配当1株あたり10円を合わせて、42円となります。

中長期的な会社の経営戦略（会社が目指すビジョン）

「成長路線の創造」

自己開発、商品開発、市場開発の「三つの開発」を企業理念とし、ニッチ市場といわれる事業分野で高い市場占有率を維持し、基幹となる三つの分野で四つの事業を展開することを基本とし、世界に通用する製品、技術、サービスを創造駆使し、グローバル化に対応する企業を目指し、更なる成長をはかる。

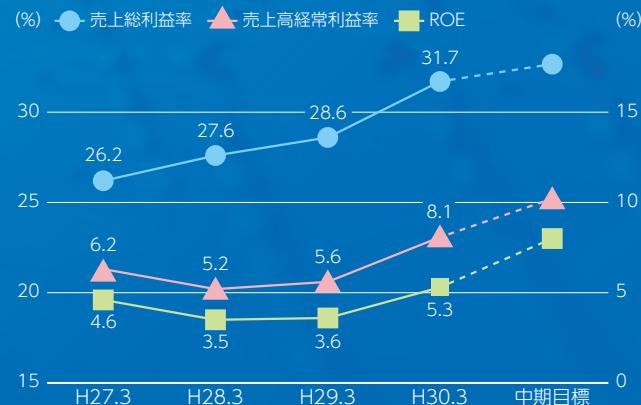
中期経営戦略（ビジョンを実現するための基本戦略）

重点テーマ

1. 第5の事業の柱として、導電性銅ナノインク等金属ナノ粒子の新規電子材料の事業化を加速し、先端電子材料市場への参入、市場拡大をはかります。
2. 回路形成用銅めっき液等の付加価値の高い製品を市場投入し市場を拡大していくとともに、プラスチックめっき市場への参入をはかることにより、高付加価値製品の売上を伸ばし、売上総利益の増加をはかります。
3. 中国現地法人の早期黒字化を促進するとともに、その他の海外拠点の拡充をはかって、グローバル化による事業の海外展開に対応いたします。

目標とする経営指標

1. 売上総利益率30%以上を目指します。
2. 売上高経常利益率10%以上を目指します。
3. 利益額の伸長により、ROE（自己資本利益率）の向上をはかります。



ISHIHARA CHEMICAL TOPICS

トピックス

平成30年3月16日に、東証第一部に指定されました。

当社は株式会社東京証券取引所の承認を受け、平成30年3月16日をもちまして、東京証券取引所市場第二部から同市場第一部銘柄に指定されることとなりましたので、お知らせいたします。今後も皆様のご期待にお応えできるよう、業容の拡大と企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



History



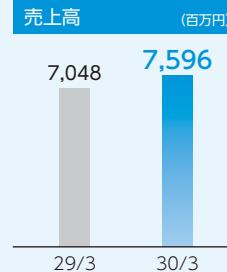
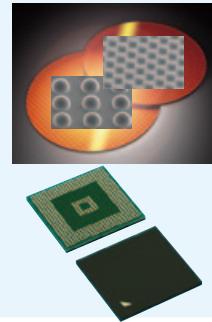
セグメント別事業の概況

Plating Chemicals & Automatic Control Equipment for Chemicals

金属表面処理剤及び機器等

当セグメントが対応する電子部品業界は、国内市場においては前期末より底打ち感が認められ、車載、スマートフォン関連及び次世代情報通信システムに関する電子部品メーカーの生産動向が堅調に推移いたしました。また、海外市場においては、ファンアウト技術や銅ピラー化が浸透してきておりますが、第4四半期以降スマートフォン関連市場においてハイエンドスマートフォンの減産の影響を受け、一時的な在庫調整の状況にあります。このような状況のもと、当社グループといたしましては、一般電子部品用めっき液及び液晶ドライバー用無電解銅めっき液が好調に推移したことに加え、ファンアウト技術や銅ピラー化に対応したウエハー用銅めっき液も好調に推移いたしました。一方、ウエハーバンプめっき液は、海外主要ユーザーの減産、価格協力などにより前期を下回る結果となりました。

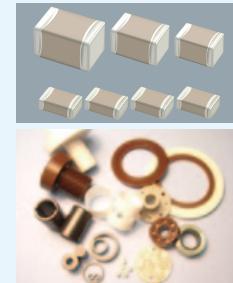
また、機器等の管理装置は、プリント基板、タッチパネル向け及び海外市場において大口需要があり好調に推移いたしました。また、試薬についても大口需要があったため、前期を上回る結果となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は、7,596百万円(前年比7.8%増)となりました。



Electronic Materials

電子材料

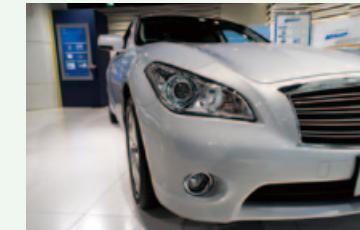
機能材料加工品は、上半期は有機EL製造装置向け加工部品が好調に推移いたしました。下期以降はハイエンドスマートフォンの販売不振の影響により有機EL製造装置向け加工部品の需要は低迷したものの、セラミック加工品の需要が期末にかけ伸張いたしました。ただし、当期よりセラミックコンデンサ用のニッケル超微粉の販売が、需要先の購買政策の変更により無くなったため、当セグメント全体としては前期を大きく下回る結果となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は、559百万円(前年比48.0%減)となりました。



Automotive Chemicals for Aftermarket

自動車用化学製品等

自動車用エアコンフィルターの定期交換作業に合わせ、エアコン洗浄を同時に施工するビジネスを継続して提案し、取り組む新規カーディーラーをさらに増加させることができ、エアコン洗浄剤は引き続き好調に推移いたしました。これらの結果、当セグメントの売上高は、2,458百万円(前年比6.6%増)となりました。



Inorganic Compounds & Fine Chemicals

工業薬品

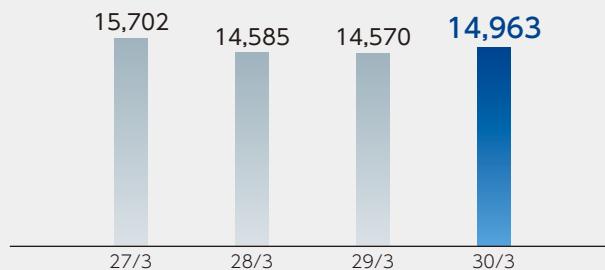
当セグメントが対応する鉄鋼業界は、自動車関連の需要により生産が回復に向かい前年水準を上回っております。このような状況のもと、鉄鋼市場向け基礎薬剤である苛性ソーダは、納入数量の増加や販売単価アップがあり、好調に推移いたしました。これらの結果、当セグメントの売上高は、4,348百万円(前年比5.0%増)となりました。



CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

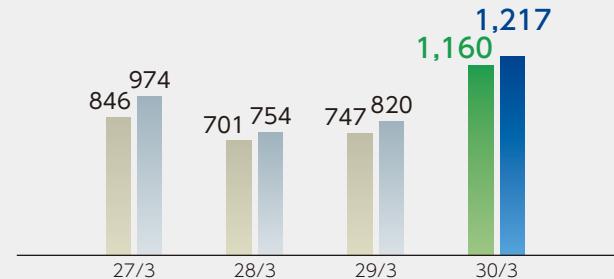
連結財務ハイライト

売上高 (百万円)

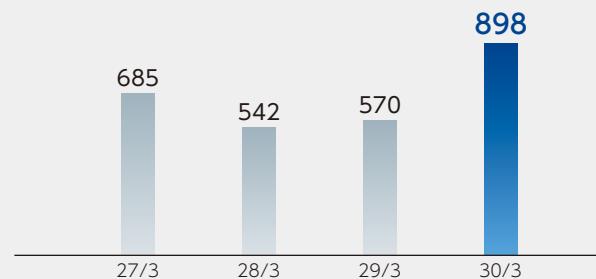


営業利益／経常利益

■ 営業利益(百万円) ■ 経常利益(百万円)

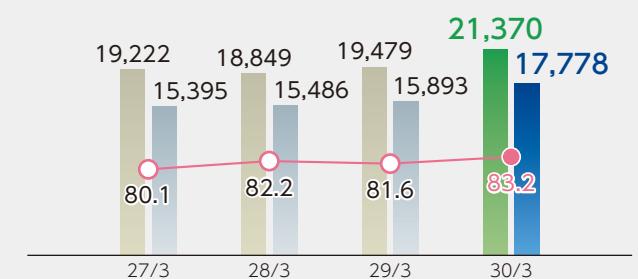


親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



総資産／純資産／自己資本比率

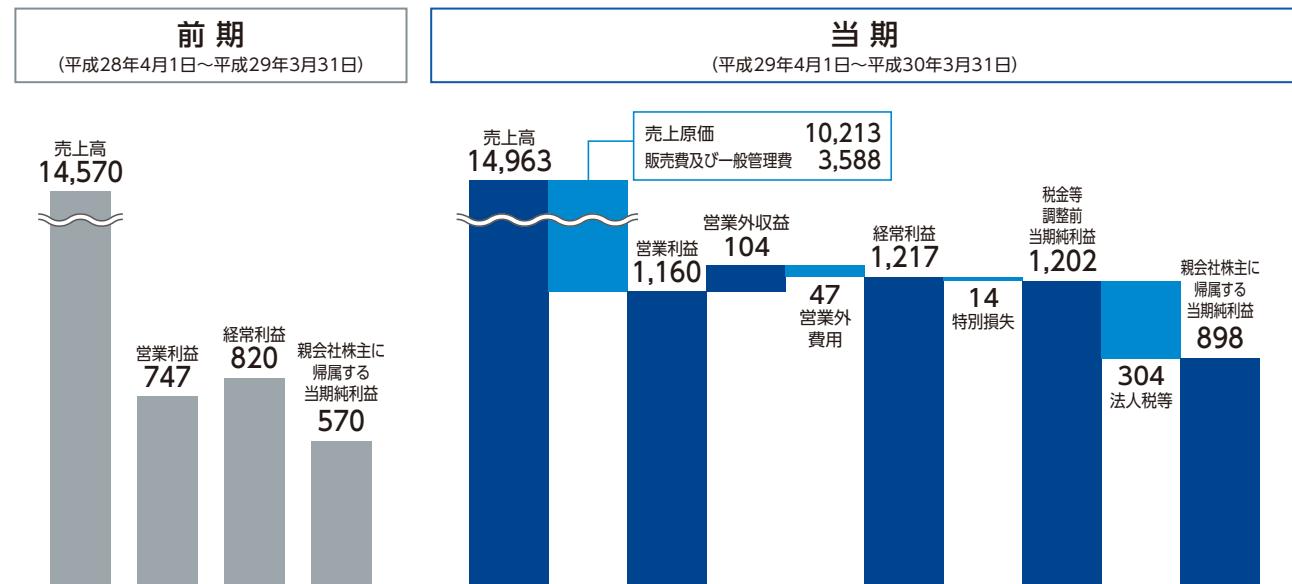
■ 総資産(百万円) ■ 純資産(百万円) ● 自己資本比率(%)



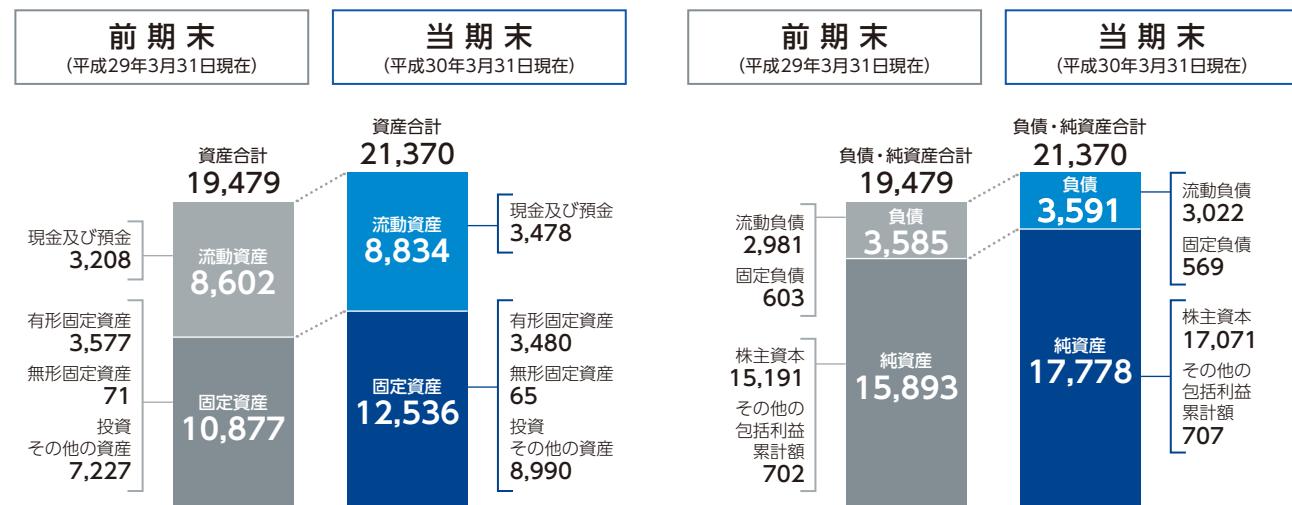
※平成29年3月期より連結決算を開始したため、平成28年3月期以前は非連結の数値を掲載しております。

連結財務諸表

連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



会社情報

会社概要 (平成30年3月31日現在)

商号 石原ケミカル株式会社
 ISHIHARA CHEMICAL CO., LTD.
 創業 明治33年4月15日
 設立 昭和14年3月3日
 資本金 19億8千87万円
 従業員数 204名

主要な事業内容

区分	主要品目
金属表面処理剤及び機器等	錫及びハンダめっき液、化成処理液自動管理装置等
電子材料	電子材料、セラミックス、エンジニアリングプラスチック等
自動車用化学製品等	つや出し剤、塗装補修コンパウンド、洗浄剤、消臭・除菌剤、溶接スパッター付着防止剤等
工業薬品	酸、アルカリ、触媒、無機化合物等

事業所 (平成30年3月31日現在)

本社 神戸市兵庫区西柳原町5番26号
 東京支店 東京都台東区台東2丁目26番11号
 滋賀工場 滋賀県高島市今津町北生見古野24番地の1
 神戸工場 神戸市西区室谷1丁目6番2

役員 (平成30年6月27日現在)

代表取締役会長 竹森 莞爾
 代表取締役社長 時澤 元一
 専務取締役 酒井 保幸
 取締役 内田 幸衛
 取締役 越山 剛
 取締役 山口 恭正
 取締役 有原 邦夫
 取締役 松本 君平
 常勤監査役 山下 隆史
 監査役 永野 卓美
 監査役 芝池 勉

株式の状況 (平成30年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 15,650,000株
 発行済株式の総数 8,154,140株
 株主数 3,605名
 単元株式数 100株

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
石原ケミカル取引先持株会	609(千株)	7.47 (%)
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL 常任代理人 シティバンク銀行株式会社	431	5.29
日本生命保険相互会社	379	4.65
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	354	4.34
株式会社三井住友銀行	346	4.25
株式会社みずほ銀行	223	2.73
第一生命保険株式会社	211	2.58
大阪中小企業投資育成株式会社	209	2.56
株式会社池田泉州銀行	160	1.96
石原ケミカル従業員持株会	158	1.94

(注)持株比率は自己株式(101株)を除いて計算しております。

株主優待制度のご案内

当社では、株主の皆様のご厚情に対するささやかな感謝のしるしといたしまして、株主優待制度を実施しております。

決算期日時点の株主様

決算期日(3月31日)時点の当社株主名簿に記載された100株以上保有の株主の皆様

所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	QUOカード(クオ・カード)1,000円分
500株以上1,000株未満	グルメギフト(3,000円相当)
1,000株以上	グルメギフト(10,000円相当)

(6月末～7月初旬贈呈予定)

中間決算期日時点の株主様

中間決算期日(9月30日)時点の当社株主名簿に記載された100株以上保有の株主の皆様

所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	QUOカード(クオ・カード)1,000円分
500株以上1,000株未満	QUOカード(クオ・カード)2,000円分
1,000株以上	QUOカード(クオ・カード)3,000円分

(12月初旬贈呈予定)